

西海岸 6 日目

現地時間 :3/6

U.C.Berkeley

スタンフォードとは違って落ち着いた感じのキャンパス。
こっちの方が落ち着くなぁ。
本郷とか大岡山に、とてもよく似た感じ。

相手してくれたところは、どうやらこちら側と似たような雰囲気だった。
RoR でデータベース使った Web アプリを作るのだそう。
そうやって包括的な技術を俯瞰した後に、もちろん各論もやるとのこと。
そういえば、母校では、
入学当初にソフトウェアを書くことを教えはしませんから
と断言されたなぁ。
そういうものかと思っていたけど、
学生さんは、バークレーのその方式はいいと感じたそう。
ちょっといろいろと反省。

また、ラボも見せてもらった。
いわゆる、個々の机があるラボではなくて、
オープンスペースがでーんとあるラボ。
いくつかの小部屋には、プロジェクタ、ホワイトボードが並んでいて、
いつでも簡単にミーティングができるようになっていた。
先生の部屋というのもないらしい。
またコーヒーなんかも無料で飲めるそう。
先生によると、簡単に個人で高速な回線を得ることができるようになって
なかなか学生が学校にこなくなったので思い切って改革したのだそう。
すんなり話をすすめることができたわけではなくて、反対も多かったらしい。
なんか、とってもいい環境だなぁ。
そういう職場にならないものだろうか。
学生さんたちは、しきりにソファを欲しがっていた、
というのをとりえずメモ。

学生さんの発表

主に相手をしてくれた方は、
デザイン(ユーザインターフェイス)の研究をしている Ph.D 課程の学生さんと
Information Society(だったかな)の研究をしている Ph.D 課程の学生さんでした。
コンピュータ科学の研究を経済活動にどう結びつけるか、
どうインキュベートして、どうマネジメントするか、とか考えているらしい。
昨日即席で作ったプレゼンでがんばって発表したりして、受けていたよう。

実際に、どれだけのユーザに、どういう効果があったのかなど、中身の技術の話ではなく、「使えるソフトウェアを作る」という観点ではつっこんだ質問もあり、楽しかったようだ。

ダウントウンを歩く

今日の午後が公式な自由時間。

Fisherman's Wharf 側のケーブルカーターミナル付近でバスから降り、見た感じかなり切り立った山を二つ乗り越えて一路ユニオンスクエア付近の本屋さん Borders を目指す。見た目以上に急な坂でかなり疲れてしまった。

本屋さんカフェでまったり

本屋さんにはカフェが併設されていて店内の本を読みながらコーヒーのんだり、なんか食べたりできる。もちろん、飲食しなくても本屋の適当なスペースに座って読むこともできる。飲み食いできるところが本屋にあるというのは、日本人としては、不思議な感じ。というわけで、いくつかの本や雑誌をぱらぱらとめくりつつ、コーヒー飲んでまったり。外を出歩くのとどうしようか迷ったが、かなりリラックスできて満足。

ステーキ

やっぱりアメリカだしということでステーキ。

ピアノバー

一人でピアノバーに行ってみた。ピアノが2台あって、リクエストとか聞きながらセッションしていた。客も一緒になって歌ったり、叫んだり、手拍子したり楽しそうだった。というか楽しかった... があまり歌知らないんだよね~、というわけで若干の疎外感を感じつつ2杯飲んだところで退散。

閉店後の飲食店

Bart に乗る前にトイレに行こうと、飲食店のあつまるモールのような所へ。... えっと、こういうところで、そういうことするですか。こっそり、写真撮ってやろうかとも思ったけど、びびって退散。